



R7 第13号

令和7年12月11日  
発行  
新潟市立月潟中学校

新潟市南区月潟740  
☎:375-2106



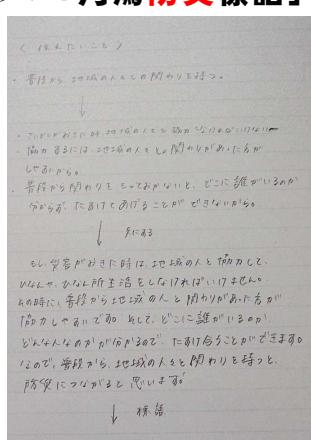
## 災害に負けない郷土月潟をつくる ~全校総合「防災学習」~

10月30日から足掛け3ヶ月、NPO法人ふるさと未来創造堂様・南区地域総務課様・地域の皆様の多大なるご支援・ご協力をいただきながら、今年度の防災学習を進めてきました。

【学校ブログ「10/30あなたならどうする」、「11/14"Stand by me,Stand by you."」、「11/18地域を守れ！我ら、月潟防災団」参照】

最終回「まとめ」の今月4日は、これまでの学びを地域に広げるための「月潟防災標語」を生徒全員で考えました。『災害が起きてても月潟の犠牲者はゼロ！』の未来を実現するために、普段からの災害への備え・災害時の心構え・具体的対応法など、「災害に負けないために地域のみなさんに伝えたいこと」を短いフレーズでまとめました。アイディア溢れる素晴らしい標語がたくさんできあがったので、全校に紹介して秀作選びに協力してもらいました。その結果が裏面の”十二傑”です。郷土月潟を思う生徒たちのこころを、学校だよりとして地域に、各ご家庭にお届けします。冷蔵庫の扉、トイレのドア内側など、よく目にする所にはってご活用ください。そして今後、万が一の時には、是非この標語を思い出して身を守ってください。よろしくお願ひします。

12作あるので「令和8年度月潟コミュニティ・カレンダー」に毎月1つずついかがでしょうか？載せていただけたら嬉しいですね。



【標語の構想メモ】

# 「月潟防災標語」2025 十二傑

～ 込めた思いや願いとともに～

## 強がるな 地震が来たら 避難しろ

自分が危険だと思ったらすぐ逃げて避難所に来てほしいことを伝えたいと思いました。ここでは津波がきたりすることはないけど、古い家が多く家が崩れたりしてしまう可能性が多くあるからです。地震が起きて危険だと思ったら強がらずに少しでも早くに避難してほしいです。

## 月潟は、一つになって、助け合う。

地域コミュニティの結束力を高め災害時に連携して助け合うことの大切さを表した。

## 焦らない 不安な時こそ 冷静に

避難者運営ゲームのHUGを通して起きた問題は実際に起こり得る問題なので、そんなときこそみんなで冷静に対処しないといけないことがわかった。焦らず自分ができることを考え、最善のことをやってほしいと思った。

## あいさつは 地震の備えの 第一章

日頃から近所の人や地域の人と挨拶することを通して、もしも災害が起きた時もコミュニケーションを取ることができます。自分の家の周りに住んでいる人を把握しておくことができたりするから。そして、挨拶は始めようと思えば、いつでも誰でも始めることができるから、みんなに挨拶から始めてほしいという願いが込められています。

## 大切に、あなたを守る、命の水

私が考えた防災標語は「貯めよう水」です。水は、防災時に飲んだり、トイレに使ったり、ライトを下から照らすと広範囲を照らす明るい照明にもなったりします。万能な水だから、防災リュックなどに備えている家も多いと思いますが、それだけでなく、普段の生活でも持ち歩くことで、いつ災害が起きたときに備えられることがあります。

## 助け合おう 近所の交流 大切に

日常的に近所の人と交流してどんな人が住んでいるか知つておく。そうすることで、災害時に知つている近所の人を見当たらない時や、足腰の悪い近所の人などを助けに行くことができ、地域での救助がすぐに行えて被害を減らすことができる。

## 油断なく 冷静思考 思い出せ

落ち着きがない程どんどん状況が悪化していくので、冷静な考えをもつことによって自分の身を守れという、「急かしもしないし、超落ち着かせもしない」という間の時間を作らせる標語となっています。最初に「油断なく」と入れたのは、冷静な考えを持つとどこか心にゆとりができてしまうので、そこで命が奪われないように念には念を入れるように書きました。

## どんな人？顔と名前を覚えよう！

災害が起きた時には、地域の人と協力して避難や避難所生活をしなければなりません。その時に、普段から地域の人と関わりがあった方が協力しやすいと思いました。そして、どこにだれがいるのか？どんな人なのか？が分かるので助け合うことができます。だから、普段から地域の人と関わりをもつといいと思いました。

## 深呼吸 まずは己を 守る時

災害時には、あせらず落ち着いて自分の安全を守る事が大事。「自分を守れば、自分が他の人を助けるチャンスが生まれてみんなが助かる未来があるよ。だから、災害時はあせらないで、まずは自分の身の安全が一番。みんなができれば明るい未来が待っているよ！」という思いを込めています。

## 大災害 油断は禁物 音もなく 忍び寄ってくる その時が

油断してはなりません。大災害は音もなく忍び寄ってきます。生きれば生きるだけ、大きな災害に遭うリスクは高まっていくでしょう。生き残る準備をしてください。生きる覚悟を決めてください。大災害を生き残った後は、復興作業などに追われることになるでしょう。でも、生きてください。何がなんでも生きてください。なぜかって？生きるためです。

## 備えてろ、忘れたらすぐ、やってくる

「地震は忘れたころにやってくる」と言う通り、去年の1月1日にも大きな地震がやってきました。たとえ楽しい時でも災害はやってくるので、大切な命を失わないように、常に災害の恐怖を覚えておいてほしいです。常に災害に怯えるのは流石に無理ですが、日頃から災害に関心をもち、適切な備えをして命を守ってほしいです。

## 備えよう 命を繋ぐ 備蓄品

全員が災害に備えることで、すこしでも災害の被災者が少なくなるといいなという願いを込めて考えました。また、日頃から備えておくことで、いざという時に避難がしやすくなると思います。この月潟防災標語でたくさんの人たちが災害に備えて、命を大切にしてくれたら嬉しいです。